

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

東

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所
 コード番号 4061 URL <https://www.denka.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)今井 俊夫
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートコミュニケーション部長 (氏名)山本 浩之 (TEL)03(5290)5511
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	202,928	6.2	18,308	△27.4	17,020	△28.0	14,327	△20.6
2022年3月期第2四半期	191,143	19.2	25,224	109.1	23,651	92.4	18,045	80.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 24,711百万円(12.1%) 2022年3月期第2四半期 22,048百万円(90.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	166.15	—
2022年3月期第2四半期	209.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	610,145	310,261	50.2
2022年3月期	557,646	292,094	51.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期306,330百万円 2022年3月期288,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	70.00	—	75.00	145.00
2023年3月期	—	70.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	75.00	145.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	445,000	15.6	43,000	7.2	39,000	6.9	18,500	△28.9
								214.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	88,555,840株	2022年3月期	88,555,840株
2023年3月期2Q	2,325,845株	2022年3月期	2,324,689株
2023年3月期2Q	86,230,577株	2022年3月期2Q	86,224,544株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費や設備投資が上向くなど景気は持ち直しの動きがみられましたが、資源価格が一段と高騰したほか円安が急激に進行し、先行きに対する不透明感が高まりました。世界経済は、各国で物価の上昇が進み、ウクライナ危機の長期化や中国の経済活動抑制などもあり減速感が強まっています。

このような経済環境のもと、当社グループは、企業理念“The Denka Value”を実現すべく、3つの成長ビジョン「スペシャリティーの融合体」「持続的成長」「健全な成長」を掲げ、2018年度より5か年の経営計画「Denka Value-Up」における2つの成長戦略「事業ポートフォリオの変革」と「革新的プロセスの導入」を推進し、業容の拡大と収益性向上に注力いたしました。また、2021年度からの2年間では、次期経営計画のありたい姿へ飛躍するための大切な準備期間と位置づけ、「社会にとってかけがえのない存在」になるための第一歩として、「事業」「環境」「人財」に関する3つの「Value-Up」に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、中国経済減速や自動車減産などの影響による需要減がありましたが、原材料価格の上昇に応じた販売価格の見直しを行ったほか円安による手取り増があり、売上高は2,029億28百万円と前年同期に比べ117億84百万円(6.2%)の増収となりました。

利益面では、交易条件の悪化やスペシャリティー化進展のためのコスト増があり、営業利益は183億8百万円(前年同期比69億16百万円減、27.4%減益)となり、経常利益は170億20百万円(前年同期比66億30百万円減、28.0%減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は143億27百万円(前年同期比37億17百万円減、20.6%減益)となりました。

<電子・先端プロダクツ部門>

球状アルミナの販売は、xEV向けは一時的な減少がありましたが、5G関連やデータセンター向けが堅調に推移し概ね前年並みとなりました。高純度導電性カーボンブラックは販売価格の改定により増収となり、電子部品・半導体関連分野向け高機能フィルムや球状溶融シリカフィルターの販売も概ね堅調となりました。一方、自動車産業用向けの金属アルミ基板“ヒットプレート”やLED用サイアロン蛍光体“アロンブライツ”の出荷は前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は474億89百万円(前年同期比36億76百万円(8.4%)増収)となり、営業利益は96億26百万円と前年同期に比べ4億35百万円(4.7%)の増益となりました。

<ライフイノベーション部門>

インフルエンザワクチンの出荷は生産能力を増強したことから前年を上回りました。一方で、新型コロナウイルスの抗原迅速診断キット“クイックナビ™-COVID19 Ag”は、地方自治体を通じた高齢者施設への配布や家庭や職場でのスクリーニング検査など、需要の裾野が拡大し供給量が増加しましたが、保険点数引き下げにより価格が大幅に下落し減収となりました。

この結果、当部門の売上高は218億92百万円(前年同期比33億59百万円(13.3%)減収)となり、営業利益は65億19百万円と前年同期に比べ41億94百万円(39.1%)の減益となりました。

<エラストマー・インフラソリューション部門>

クロロプレンゴムは需要が堅調に推移したほか販売価格の見直しを行い増収となり、肥料の販売も前年を上回りました。このほか、特殊混和材の販売は概ね前年並みとなりましたが、セメントは原燃料価格の上昇に対して価格転嫁が一部にとどまりました。

この結果、当部門の売上高は629億円(前年同期比115億5百万円(22.4%)増収)となり、営業利益は12億93百万円と前年同期に比べ12億55百万円の増益となりました。

<ポリマーソリューション部門>

スチレン系製品は原燃料価格の上昇に応じた販売価格の改定を進めました。数量面では、ABS樹脂や透明樹脂は自動車減産や中国経済減速の影響を受け減少し、デンカシンガポール社のMS樹脂はテレビやモニター向けの需要が減少しました。また、スチレンモノマーは定期修繕を実施したことから出荷が減少したほかコストが増加しました。このほか、食品包材用シートおよびその加工品は概ね前年並みとなり、合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売は前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は636億18百万円（前年同期比3億88百万円（0.6%）増収）となり、1億53百万円の営業損失（前年同期は営業利益43億37百万円）となりました。

<その他部門>

YKアクロス株式会社等の商社は取扱高が概ね前年並みとなりました。

この結果、当部門の売上高は70億26百万円（前年同期比4億26百万円（5.7%）減収）となり、営業利益は13億34百万円と前年同期に比べ3億14百万円（30.8%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ524億98百万円増加の6,101億45百万円となりました。流動資産は、棚卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ437億2百万円増加の2,618億66百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ87億96百万円増加の3,482億78百万円となりました。

負債は、有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べ343億31百万円増加の2,998億83百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ181億67百万円増加の3,102億61百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の51.7%から50.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年10月25日に公表した予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,210	22,447
受取手形、売掛金及び契約資産	101,026	112,725
商品及び製品	55,790	76,386
仕掛品	4,516	4,462
原材料及び貯蔵品	25,352	32,870
その他	11,485	13,225
貸倒引当金	△218	△252
流動資産合計	218,164	261,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	82,587	83,699
機械装置及び運搬具（純額）	90,006	94,622
工具、器具及び備品（純額）	4,666	4,437
土地	63,494	63,790
リース資産（純額）	2,141	2,322
建設仮勘定	20,276	23,489
有形固定資産合計	263,171	272,361
無形固定資産		
のれん	5,989	6,297
特許権	359	320
ソフトウェア	1,111	1,358
その他	2,931	3,360
無形固定資産合計	10,391	11,337
投資その他の資産		
投資有価証券	60,552	58,403
長期貸付金	140	133
繰延税金資産	1,326	1,503
その他	3,971	4,615
貸倒引当金	△73	△76
投資その他の資産合計	65,918	64,579
固定資産合計	339,482	348,278
資産合計	557,646	610,145

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,032	57,807
短期借入金	40,545	45,083
コマーシャル・ペーパー	8,000	21,000
1年内返済予定の長期借入金	12,470	22,446
未払法人税等	5,439	4,973
未払消費税等	298	79
賞与引当金	2,904	3,178
その他	46,988	41,036
流動負債合計	166,679	195,605
固定負債		
社債	37,000	37,000
長期借入金	39,016	45,039
繰延税金負債	5,995	5,536
再評価に係る繰延税金負債	8,401	8,401
退職給付に係る負債	5,074	4,576
株式給付引当金	60	71
その他	3,324	3,654
固定負債合計	98,872	104,278
負債合計	265,552	299,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,397	49,406
利益剰余金	183,128	190,985
自己株式	△7,645	△7,649
株主資本合計	261,879	269,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,883	15,410
繰延ヘッジ損益	△348	△269
土地再評価差額金	10,377	10,377
為替換算調整勘定	2,410	13,544
退職給付に係る調整累計額	△2,731	△2,475
その他の包括利益累計額合計	26,592	36,588
非支配株主持分	3,621	3,931
純資産合計	292,094	310,261
負債純資産合計	557,646	610,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	191,143	202,928
売上原価	132,362	148,893
売上総利益	58,781	54,034
販売費及び一般管理費	33,557	35,726
営業利益	25,224	18,308
営業外収益		
受取利息	25	-
受取配当金	736	1,451
持分法による投資利益	177	1,020
為替差益	-	12
その他	420	281
営業外収益合計	1,359	2,765
営業外費用		
支払利息	438	491
固定資産処分損	1,393	1,975
操業休止等経費	310	364
為替差損	84	-
その他	706	1,221
営業外費用合計	2,933	4,053
経常利益	23,651	17,020
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,533
特別利益合計	-	1,533
税金等調整前四半期純利益	23,651	18,553
法人税、住民税及び事業税	5,799	4,036
四半期純利益	17,851	14,517
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△193	189
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,045	14,327

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	17,851	14,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	431	△1,582
為替換算調整勘定	3,530	11,356
退職給付に係る調整額	255	255
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	164
その他の包括利益合計	4,196	10,194
四半期包括利益	22,048	24,711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,173	24,323
非支配株主に係る四半期包括利益	△125	388

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,651	18,553
減価償却費	11,267	13,128
のれん償却額	260	236
賞与引当金の増減額(△は減少)	263	241
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△160	△129
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△52	11
受取利息及び受取配当金	△761	△1,451
支払利息	438	491
持分法による投資損益(△は益)	△177	△1,020
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△1,533
固定資産除売却損益(△は益)	169	818
売上債権の増減額(△は増加)	△6,428	△8,521
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,229	△25,621
仕入債務の増減額(△は減少)	7,155	4,746
その他	6,897	△1,717
小計	39,294	△1,767
利息及び配当金の受取額	857	1,512
利息の支払額	△373	△484
法人税等の支払額	△5,028	△4,667
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,749	△5,407
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,212	△20,928
有形固定資産の売却による収入	198	-
無形固定資産の取得による支出	△195	△531
投資有価証券の取得による支出	△19	△16
投資有価証券の売却による収入	22	2,563
その他	△10	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,218	△18,924
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,547	15,537
長期借入れによる収入	5,000	18,000
長期借入金の返済による支出	△5,001	△2,001
自己株式の取得による支出	△5	△4
配当金の支払額	△5,608	△6,470
非支配株主への配当金の支払額	△0	△41
その他	△101	△188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,265	24,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	557	1,737
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△176	2,236
現金及び現金同等物の期首残高	25,909	20,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,733	22,446

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	電子・先端 プロダクツ	ライフイノ ベーション	エラストマ ー・インフ ラソリューション	ポリマーソ リューション	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	43,813	25,251	51,394	63,230	183,690	7,452	191,143	—	191,143
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	0	82	82	1,930	2,013	(2,013)	—
計	43,813	25,251	51,394	63,313	183,773	9,383	193,156	(2,013)	191,143
セグメント利益	9,190	10,714	38	4,337	24,280	1,020	25,300	(76)	25,224

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△76百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	111,251	50,547	29,344	79,892	191,143
連結売上高に占める割合(%)	58.2	26.4	15.4	41.8	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	電子・先端 プロダクツ	ライファイノ バージョン	エラストマ ー・インフ ラソリューション	ポリマーソ リューション	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	47,489	21,892	62,900	63,618	195,902	7,026	202,928	—	202,928
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	37	74	112	3,504	3,616	(3,616)	—
計	47,489	21,892	62,938	63,693	196,014	10,530	206,544	(3,616)	202,928
セグメント利益 又は損失(△)	9,626	6,519	1,293	△153	17,286	1,334	18,621	(312)	18,308

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△312百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	111,420	54,600	36,906	91,507	202,928
連結売上高に占める割合(%)	54.9	26.9	18.2	45.1	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。